

名古屋市高年大学「地域コース」

1986年4月、名古屋市高年大学鯉城(にじょう)学園が開学した。設立の趣旨は「高齢者の生きがいをづくりと、地域活動の核となる人材の養成を目的として設立されています」。そのなかの地域コース地域専攻の目標は「郷土の歴史や文化・自然・社会・産業などの学習を通して、地域への親しみと関心を深め、毎日の生活を豊かにします」と。

地域専攻	
目標	郷土の歴史や文化・自然・社会・産業などの学習を通して、地域への親しみと関心を深め、毎日の生活を豊かにします。
1年	名古屋の先史・古代史を探る 見聞考古資料館見学 地域文化・社会を読み解く記号論 地域を学ぶ時の視座 鳴海清理工場見学 名古屋をつくった4人 名古屋の歴史と文化財 名古屋のまちづくりと都市魅力 地域文化と伝説 幕閣以前名古屋 堀川の浄化・再生 ものづくり文化の通
2年	愛知の産業観光について 朝鮮通信使 尾張を行く 常滑焼を通して見る流通 名古屋弁の構造 尾張藩士の残した遺書 鍋屋上野浄水場見学 江戸時代の名古屋とその周辺 三英傑の天下取りと女性たち 名古屋の鉄道文化 愛知の食材のうまさを解明する 愛知・名古屋戦争に関する資料館見学 これからの名古屋のまちづくり

地域専攻の「名古屋のまちづくりと都市魅力」の講義を担当している。長年、講義を担当してきたが、大阪に転居したこともあり、講師を引き受けるか迷った。でも退職後は講義する機会も減ったので、思い切って引き受けることに。正直に言えば、ここでは私の寒いダジャレなるものが受けることが多く、なんだか気分もいいので、講義を続けている。



写真は3年前の2016年の講義風景。講座でお世話になっている朝倉先生に頼んで撮ってもらった。自己紹介で登場するのが、名駅近くの愚痴聞き地蔵さん。まち歩きの楽しさに話をつなげていく。今年度も撮ってもらうつもりが、講義に集中して忘れてしまった。講義はいつもパワーあるパワーポイントを使って、自己紹介のあと、次のように話を進めていく。

私の講義は「名古屋のまちづくりと都市魅力」がテーマです。都市の魅力について、まちづくりの視点などから、都市を比較し点検・評価していきます。

名古屋の魅力や観光について、厳しい「評価」が公表されています。国内主要8都市で、名古屋は「行きたくない」街ナンバーワン。こんな「評価」を皆さんはどう考えられますか。皆さんの感想をお聞きしたいです。ここでは写真や映像なども使いながら、名古屋のまちづくりと魅力を考えていきます。まず都市の魅力について話し、大阪などと比較して名古屋の現状について評価します。そして名古屋のまちづくりの歴史を振り返り、私なりに課題を提起します。

今年度、スライドにつけ加えたのが写真の京都・錦市場の混雑風景。京都や大阪の「観光公害」について話すと、関心をもつ人が多かった。IR（カジノ）についても、大阪夢洲の写真を使って問題を投げかけた。



名古屋のまちづくりと都市魅力について、大阪と比較しながら講義を続けていきたい。

(2019年12月17日)